

# BCJ-SAR ISOだより Vol.16



財団法人 日本建築センターシステム審査部  
〒101-8986東京都千代田区外神田6-1-8

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

ホームページ <http://www.bcj.or.jp>

Eメール [sinsa@bcj.or.jp](mailto:sinsa@bcj.or.jp)

## 我が社のISO(その15)

『製造業であり、工事業であり、  
サービス業である』

私がISO認証取得の検討を始めたのは、代表取締役就任前の1997年のことでした。

当時、当社の第一生産部川口工場は、品質に対する意識が高いとはいえ、ISOの規格とは大きくかけ離れている状態にありました。そのような工場が、1998年のキックオフ実施後、ベテラン社員と若手社員が一緒になって必死に規格の理解に努め、形式ではなく内容を追求し、遂に1999年3月にダクト業界としては初のISO9002:1994の認証を取得し、「品質にこだわる工場」へと変貌を遂げたのです。

以降改定を重ね、2002年3月にはISO9001:2000版へ切替え更新を行い、今やISOは工場を稼働させるうえで、重要なツールのひとつになっています。

責任と権限の明確化、是正・予防処置、各断面でのレビュー等々、管理面・実務面に於いて非常に便利だと感じています。

\*

私は、社員に対して「当社は製造業であり、工事業であり、サービス業である。」という言葉をよく口にします。

会社は「顧客満足」を得るために、提供する製品の品質だけでなく「常に顧客の気持ちになって考え、実行する。」という顧客第一主義の考えも含めた「品質」を提供すべきだと考え、工事業・サービス業とい

株式会社 中川製作所  
代表取締役 中川 信



う言葉を使っています。

製品の品質に合わせて、顧客に対して細やかな対応ができてこそ、顧客満足を得ることができると社員に説明する事が、私の仕事だと思っています。

しかし、顧客満足というのは、いつまでも一定のレベルではなく、日々変化していくのが現実です。市場や顧客の高い要望に対して、会社は業務を改善し、顧客満足が得られるように努力していますが、いつの間にか当たり前となり、より高い要望が出て来るのです。これは自然の流れであり、市場や顧客からの「より高い要望」に応えるためには、会社は継続的に改善しなければなりません。継続的改善がなされなければ、会社は現状維持どころか後退してしまうと思っています。

\*\*

当社も他の認証取得企業と同様に、継続的改善を行うためにISOが欠かせないということは言うまでもありません。

当社では、「品質保証会議」と称する会議において、活動のレビューを行い、継続的改善を実施し、更なる顧客満足の向上に繋げています。

第一生産部 川口工場が認証を取得して、8年経ちますが、ISOに終わりはありません。

現在は、既に認証取得しているISOの適用範囲を拡大し、生産部門全体としての認証取得を目指しています。

当社のISOが円熟期を迎えるには当分時間がかかりますが、今後も「当社は製造業であり、工事業であり、サービス業である。」という考えを基に、品質にこだわる企業として成長していきたいと考えています。

#### ●株式会社 中川製作所の概要

1947年10月：冷暖房換気装置・ダクト工事を営業目的に創業

1957年 8月：株式会社中川製作所設立

1999年 3月：第一生産部 川口工場  
ISO9002：1994認証取得

2002年 3月：第一生産部 川口工場  
ISO9001：2000へ切替え更新

#### ●主な事業内容

登録範囲：溶接ダクト、はぜ折りダクト、たわみ継手、角丸ダクト、継手、スリーブ、架台の製造

範囲外の業務：冷暖房・換気・排煙等空調ダクト工事

#### ●所在地：埼玉県川口市



## 審査員の目(その19)

関 信博



システム審査部  
登録審査員  
CEAR登録主任審査員  
JRCA登録主任審査員

### 『元気を出せ、ISO』

「ISOをなめちゃ駄目です。」あるEMSの更新審査のクロージングでこう言ってしまった。不適切な言葉だった。でも正直そう思った。

確立されたことが以前に戻った、脇が甘くなっている、記録のとり方や文書の最新版管理など、わかっちゃいるけどやっちゃいられないよ…との雰囲気を感じた。

これはまずい！強い心配と言語不足のため、平素の言葉が口から転がった。「なめたらあかん」と関西弁だった？それは話の尾ひれである。

\*

あれから3年、更新審査にお伺いした。

前回と違って、次のような点で「経営の中でISOマネジメントシステムがこなれてきた。」と感じた。努力を放棄しない関係者の熱意がうれしかった。

#### ① 仕事の成果と目的／目標を連結。

- ② 業務で得るデータで活動を分析。
- ③ 分析結果を目的／目標に反映し、継続テーマでも攻め口を変えて課題達成型の目標に発展させた。
- ④ どの部門でも「委員会で今度それを議論してみます。」との答えがしばしば出るほど委員会が身近になった。
- ⑤ コミュニケーションの活性化は書類の改善とも繋がるためか、初期に比べて目に見えるシステムは随分シンプルになった。

但し、全てが上記通りではないし、部門の差もある。さらに掘り下げて観ると違った実態に当たるかもしれない。

しかし、ISOと日常の仕事は別物と考えていた部分が解消してきたこと、その結果ISOシステムが定着し、成果を持続しうることは間違いなさそうであった。

\*\*

QMS/EMSの活動が以前ほど活発でない企業が増えている。様々な原因があるが、目標設定が本業から外れるとISOの負担が大きくなる。ISO規格は何にも言わないけれど、次のような思いに違いない。

「私を特別扱いしないで平素もっと使ってもらえば、さらに役に立つ。捨てたものではありません。」組織の皆さん、審査でまたお会いできることを楽しみにしています。

## システム審査部からのお知らせ

■今後開催される登録判定会議の日程は下記の通りです。

7月23日(月)、8月20日(月)

9月10日(月)、10月15日(月)

■更新を迎える組織の皆様へ  
へのお願い。



審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもって更新申請に必要な書類をご提出されますようお願いいたします。

更新申請にあたっての書類は(財)日本建築センターホームページ (<http://www.bcj.or.jp>) よりダウンロードしていただくか、「品質マネジメントシステム審査登録の手引き(R-39)」又は「環境マネジメントシステム審査登録の手引き(ER-39)」に添付されている様式をご利用下さい。



更新審査以降に実施するサーベイランスは更新審査最終日を起点に実施する事になります。詳細はお手元の「審査登録の手引き」にてご確認ください。

なお、ご不明の点等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。



システム審査部

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

## 編集後記

沖縄地方は先日梅雨が明けましたが、他の地域は、梅雨の最中であり毎日鬱陶しい日々が続いています。皆様はいかがお過ごしでしょうか？これからが夏本番。体調管理に気をつけて、この夏を乗り切っていただきたいものです。

仕事に疲れた時は、夜空を見上げるのもいいかもしれません。

システム審査部では、皆様に少しでも役に立つ審査登録業務をご提供するため、引き続き努力してまいります。

## 品質マネジメントシステム新規登録組織紹介(2007年4月~2007年7月)

登録番号 (BCJ-QS)	登録組織名・事業所名	所在地	登録された品質マネジメントシステム
0856	東洋シャッター株式会社 奈良工場	奈良県磯城郡	シャッター、鋼製建具、オーバードア、イー ジードア、金物(錠前、各種金物)、建材製 品、電装製品の製造(但し、顧客は東洋シャ ッター株式会社営業部門に限定される) 『適用除外項目:7.3 設計・開発』
0857	中山建設株式会社	栃木県芳賀郡	土木構造物の施工及び建築物の施工 『適用除外項目:7.3 設計・開発』
0858	横浜緑地株式会社	神奈川県横浜市	造園工事、樹木の維持・育成管理業務 『適用除外項目:7.3 設計・開発』

## 環境マネジメントシステム新規登録組織紹介(2007年4月~2007年7月)

登録番号 (BCJ-EMS)	登録組織名・事業所名	所在地	登録された環境マネジメントシステム
0135	ジャパンケミカル株式会社	群馬県伊勢崎市	工業用ゴム製品と各種組立半製品の生産活動 及びそれらに関連する事務業務